

「主と共に」 —先週の講壇より—

「事実、神はわれわれひとりびひとりから遠く離れておいでになるのではない。」使徒 17:27
【口語訳】

先週はハリケーンが当地を襲いましたが、あらかじめ繰り返しの警戒報道がされたことにより、被害が少なく済んだのはありがたいことでした。そんな中、マウイの山火事はいまだに厳しい現実と直面しており、祈られることです。

ローカルのニュース番組でマウイの報道を見ていましたら、現地では教会が避難所になっているという様子が映し出されていました。日本では緊急時には体育館や公民館などが避難所になりますが、マウイでは教会が大きな役目をはたしているのだそうです。そして一人の牧師がインタビューに答えていました。「信徒たちは山火事の影響を受けていますが、彼らの希望はイエス・キリストと、イエスが教会に与えてくださる慰めにあります」・・・教会を開放し、寝る間もなくボランティアしている牧師も信徒たちも、自分たち自身が家を失い、職を失い、家族を失っている・・・でも、イエス様にあってこのように証しし、立ち上がり、人々のために労している姿に、大きな感動と、そして希望をいただいたことでした。主と共にいるということ、これは何にも代えがたいことだと、改めて思われています。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、天にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2023 年 8 月 27 日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630
Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「私はこの岩の上に私の教会を建てよう。陰府の門もこれに打ち勝つことはない。私はあなたに天の国の鍵を授ける。」

マタイ 16:18, 19

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:20

礼拝は短縮して持たれています。
礼拝後のバイブルスタディ、平日のクラスなどは、現在休止しています。

